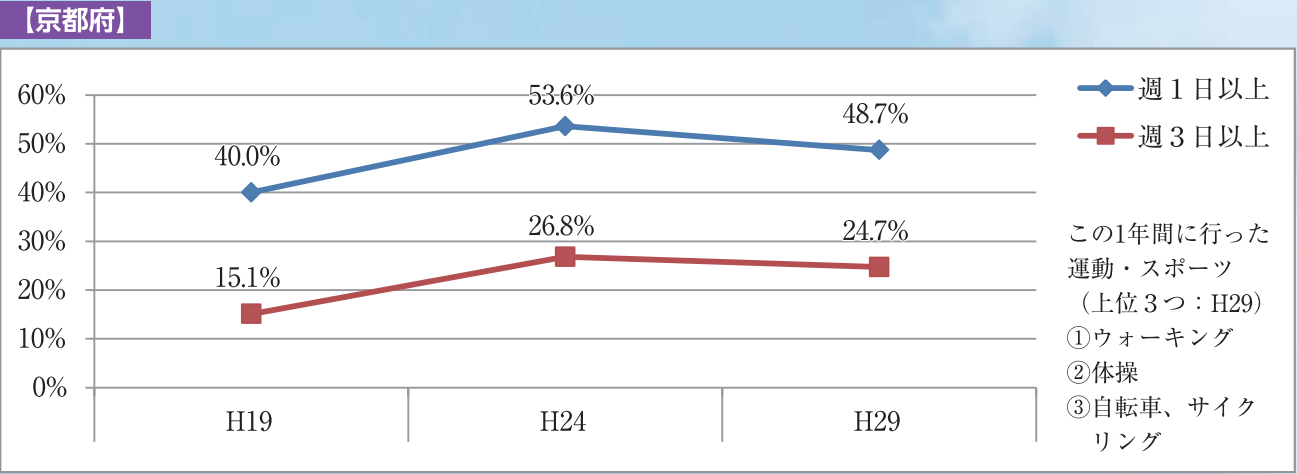




＜出典＞「平成 29 年度京都府民のスポーツに関する実態調査」（京都府教育委員会）

(2) 子どものスポーツ実施率

- 学校の体育の授業以外で週1日以上運動・スポーツをしている子どもの割合は、各年齢とも女子より男子の方が高くなっています。
- 小・中学校の時期は年齢が上がるにつれ実施頻度が概ね上昇しますが、高校入学後は低下傾向がみられます。
- 高校入学を機にスポーツ実施率は低下しますが、これは運動部活動加入率（中学校67.2%：平成30年度運動部活動状況調査（京都府中学校体育連盟）、高校43.7%：平成30年度運動部活動実態調査（京都府高等学校体育連盟））が大きく影響していると考えられます。

(3) 京都府ゆかりの選手の国際大会・国民体育大会成績

- リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック競技大会及び平昌オリンピック・パラリンピック競技大会では、計29名の選手が参加し、計4個のメダルを獲得しています。
- 国民体育大会において、目標とする男女総合成績入賞（8位以内）には、本計画策定以降一度も届いていません。（H26：12位、H27：10位、H28：12位、H29：11位、H30：15位）

(4) 京都府のスポーツ施設整備状況の変化

- ◆完成
 - 京都トレーニングセンター
 - 京都府立山城総合運動公園
弓道場、陸上競技場夜間照明及びスタンド屋根、テニスコート屋根、クラブハウス
 - 京都府立丹波自然運動公園
テニスコート等夜間照明、陸上競技場第2種化整備、クロスカントリーコース、車いす専用練習コース
- ◆整備中
 - 専用球技場「京都府立京都スタジアム」及びクライミングウォール（附帯施設）
 - 通年型アイススケートリンク「京都アイスアリーナ」（仮称）

「スポーツどころ」で
Here we go!



～京都府民みんなが持ちたい「スポーツどころ」～

人々は、日々の生活の中で「よしっ!」「さあ!」「やってみよう!」という前向きで積極的な気持ちを持って行動しています。その前向きな「心のありよう」が、誰もが持っている「スポーツどころ」です。

この「スポーツどころ」を「芽吹かせ」「広め」「深め」「高める」ことを本計画を進めるためのテーマとしました。府民の「QOL (Quality of Life 生活の質)」の向上に大きな役割を果たすスポーツの意義や価値を考慮し、これからも引き続き「スポーツどころ」をテーマとしたスポーツ施策を総合的かつ計画的に推進します。

スポーツどころ

感 動：強く心を動かされたい。また、動かしたい。
 楽 し み：興味を持って、楽しくありたい。
 向 上：さらなる進化を求めたい。
 健 康：心も身体も健やかでありたい。
 挑 戦：未知の世界へ立ち向かいたい。
 つながり：人との結びつきを大切にしたい。
 公 正：思いに偏りなく、正しくありたい。



京都府スポーツ推進計画 (中間年改定)

Sport is a force for good.

スポーツは、良き方向へと導く(推進)力



平成31(2019)年3月

京都府教育委員会

1 計画改定の趣旨

京都府では、2014(平成26)年に今後10年間を見通した本府のスポーツ推進に関する基本計画として、「京都府スポーツ推進計画」を策定しました。

本計画策定後、スポーツ庁の創設や「第2期スポーツ基本計画」の策定、更には、ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、ワールドマスターズゲームズ2021関西と、3年連続で国内で大規模な国際スポーツ大会が開催されるなど、スポーツに関する環境は大きく変化しています。

こうした状況を踏まえ、「京都府スポーツ推進計画」の基本的な趣旨を継承し、各目標の達成に向けて積極的に取り組んでいくことを基本としつつ、これまでの成果や課題を明らかにした上で、今後5年間で必要な施策について新たに計画に盛り込むべきと考え、改定することとしました。



ワールドマスターズゲームズ2021関西
大会マスコット「スフラ」

2 計画の期間

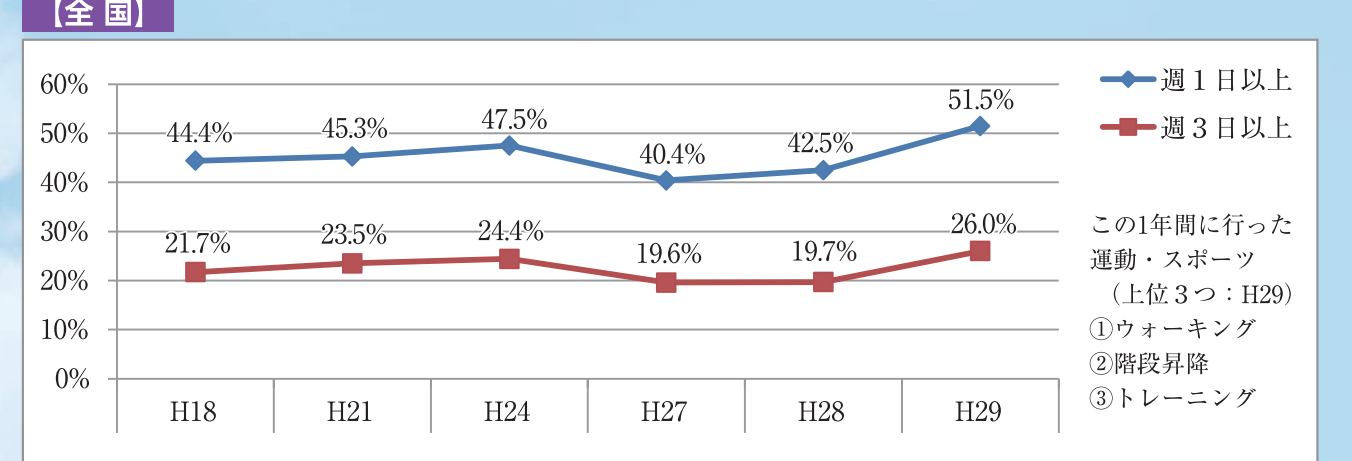
2014(平成26)年度から2023年度までの10年間です。

3 計画策定以降の本府の運動・スポーツに関する現状と課題

(1) 成人のスポーツ実施率

- 週1日以上運動・スポーツをする成人の割合は、H29:48.7%(H24:53.6%)、週3日以上では、H29:24.7%(H24:26.8%)であり、前回調査や国の実施率を下回る結果となっています。また、国や本府の目標である週1日以上運動・スポーツをする成人の割合、約65%(週3日以上:約30%)には届いていません。
- 運動・スポーツを行った理由としては、「健康・体力づくり」、「運動不足を感じる」、「楽しみ・気晴らし」など様々です。
- 運動・スポーツをしなかった理由としては、「年をとったから」、「仕事(家事・育児・介護等含む)が忙しい」、「機会がない」、「面倒だから」と続いています。特に70歳以上では、「年をとったから」、30歳代以下と40～50歳代では「仕事で忙しい」、「機会がない」が多く、「仕事で忙しい」、「面倒だから」をあげる人は若い年代ほど多くなっています。

成人のスポーツ実施率の推移



＜出典＞「平成 29 年度スポーツの実施状況等に関する世論調査」（スポーツ庁）